

サーモス×かわさきこども食堂ネットワーク×川崎フロンターレ「食」でつながるプロジェクト

『子どもたちがつくる子ども食堂』開催

フライパン・真空保温調理器シャトルシェフを使った調理体験会で食の楽しさを再発見

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区 社長：片岡 有二）は、株式会社川崎フロンターレ（本社：神奈川県川崎市 社長：吉田 明宏）が運営するプロサッカー клуб「川崎フロンターレ」のオフィシャルパートナーとして、川崎市と川崎フロンターレが持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて取り組む、NPO 法人かわさきこども食堂ネットワーク（事務所：神奈川県川崎市 理事長：佐藤 由加里）への支援に 2024 年 3 月から参画しています。

このたび、「食」でつながるプロジェクト『子どもたちがつくる子ども食堂』と題し、川崎市内の子どもたちを対象とした、フライパン・真空保温調理器シャトルシェフを用いた調理体験会を 3 者協働にて 2026 年 8 月 5 日に開催しました。

当社は、子ども食堂で地域の方たちと子どもたちの笑顔が広がる活動を今後も進めてまいります。

■開催の背景・経緯

食事の提供や居場所などを担う子ども食堂は、家庭環境の変化などから需要が高まる一方、運営にあたってはさまざまな課題があります。

当社ではこれまで、子ども食堂が抱える調理の効率化といった課題の解決を目指し、フライパンや真空保温調理器シャトルシェフの寄贈を行ってきました。製品を活用いただくことで調理負担を軽減し、地域の方と子どもたちが交流する時間を増やしていただければという想いから、活動を継続しています。その想いをさらに一歩進め、製品を届けるだけではなく、「食」を通じて子どもたちが新しいことを知り、実際にふれて自らつくる体験を提供できないかと考え、今回の調理体験会を企画しました。



■活動内容

当日は、当社のフライパンで香ばしく焼き上げた「お魚のサクサク焼き」、真空保温調理器シャトルシェフでふっくら炊き上げた「ごはん」をはじめとし、「きゅうりとわかめの酢の物」、「かきたま汁」を子どもたちが手作りしました。

真空保温調理器シャトルシェフを使った炊飯体験では、加熱時間を短くしながら、ステンレス製魔法びんと同じ高い保温力でじっくり火が通る仕組みを体験していただきました。保温の時間を活かして、ほかのメニューの調理にも挑戦し、みんなで協力しながら美味しいお昼ごはんを作り上げました。

また、当社社員による「正しいフライパンの使い方クイズ」や川崎フロンターレのサポート企業による「おさかなさばきショー」、「お米クイズ」を通して、楽しみながら調理や食材への理解を深める時間を設けました。さらに、「川崎フロンターレのひみつクイズ」、「子ども食堂に関するクイズ」など、地域について知るコーナーもありました。

子どもたちからは、「はじめて料理をしました、初対面の人と協力してできた」「自分で作った料理はとても美味しかった」といった声が聞かれ、食べるだけでなく、「知る・ふれる・つくる」ことの楽しさを体験する機会となりました。



当社のフライパンで調理した
お魚のサクサク焼き



真空保温調理器シャトルシェフを
使った炊飯体験



当社社員による
正しいフライパンの使い方クイズ

■今後について

当社は、今後も子ども食堂をはじめとする地域のみなさまとの対話を大切にしながら、自社の製品や食に関する知見を活かし、さまざまな方々とつながり、ともに考えながら、「食」を通じた新たな取り組みを検討してまいります。

■開催概要

- ・開催日時：8月5日（水）10:30～14:30
- ・開催場所：高津市民館 調理室（神奈川県川崎市高津区溝口 1-4-1 ノクティプラザ 2 11 階）
- ・参加対象：川崎市内の小学校 3 年生から高校生まで
- ・主催：NPO 法人かわさきこども食堂ネットワーク
株式会社川崎フロンターレ
サーモス株式会社
- ・協力：川崎市中央卸売北部市場商業協同組合（山忠保坂水産株式会社）
ウエイズトヨタ神奈川株式会社
エバラ食品工業株式会社
川崎市内の子ども食堂
- ・当日のメニュー：お魚のサクサク焼き、ごはん、
きゅうりとわかめの酢の物、かきたま汁



■NPO 法人かわさきこども食堂ネットワークとは

NPO 法人かわさきこども食堂ネットワークは、神奈川県川崎市内のこども食堂を運営する団体が集まり、運営の課題解決などを共有しようと発足し、2024 年に法人格を取得。企業などからの支援の窓口や、子ども食堂への各種情報提供をはじめ、支援品の受取や分配のほか、市内の子ども食堂に関する調査などを行っている中間支援団体です。市外の子ども食堂などネットワークとも交流を深め、相互の課題や状況の共有と研鑽に努めています。2022 年より、川崎フロンターレとそのパートナー企業からの継続した支援を受けています。



■当社とプロサッカー клуб「川崎フロンターレ」との取り組み

当社は、川崎フロンターレと 2022 年にクラブパートナー、2023 年にオフィシャルパートナーの契約を締結しております。パートナー契約の締結以降、ホームスタジアム「Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu（神奈川県川崎市）」において、メインスタンド側の「パーティーシート」のネーミングライツ取得やロゴ掲出を実施。さらに、当社製品を体験いただける取り組みも行っています。

また、2024 年より子ども食堂への支援を実施し、「かわさきこども食堂ネットワーク」や「神奈川こども食堂・地域食堂ネットワーク」などと連携し、地域の子ども食堂へサーモスのフライパンをはじめとする調理器具を寄贈。現場での調理効率化をサポートしています。



©KAWASAKI FRONTALE